

現地勉強会報告

千歳川流域の歴史・文化・治水・環境をめぐる

1. はじめに

防災委員会水工部会では、水防災に係る専門家集団としての知見を深めることを目的として、年1回、現地勉強会を開催しています。一昨年度の十勝川流域、昨年度の石狩川下流域(札幌圏域)に引き続き、本年度は、千歳川流域を対象流域とした勉強会を開催しましたので、実施内容について報告します。

2. 実施概要

本年度の現地勉強会は、令和元年6月26日(水)に、水工部会メンバー13名にて実施しました。防災委員会としての活動ではありますが、防災のみに固執するのではなく、『環境・生物』、『歴史・文化』、『景観』、『治水史』、『治水事業』、『減災』、『防災』の幅広い観点で、千歳川流域を上流から下流に向かって視察するプランを立て、丸一日かけて実施しました。

3. 勉強会の内容

視察箇所(1) さけます情報館

さけます情報館は、国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所の広報展示施設です。



写真-1 施設外観

北海道では、1888年(明治21年)に千歳中央ふ化場が建設され、捕獲規制や産卵保護による資源維持から人工ふ化放流事業への転換が図られました。本勉強会では、施設見学により、上記の歴史やふ化放流の仕組み等について学ぶことができました。



写真-2 放流体験コーナー

視察箇所(2) ウサクマイ遺跡

ウサクマイ遺跡は縄文時代の村の跡です。本勉強会では、森の中の見学コースを散策しながら、今も残る竪穴住居のくぼみを確認しました。



写真-3 視察状況

視察箇所(3) 恵庭市郷土資料館

恵庭市郷土資料館は、1990年に開館した資料館で、国指定史跡カリンバ遺跡から出土した縄文時代後期(約3,000年前)の漆塗りの櫛をはじめ、市内の遺跡から発見された埋蔵文化財資料を多く収蔵しています。外観からイメージするよりも広い施設で、常設展示(第1部:恵庭の大地、第2部:先住の人びと、第3部:アイヌモシリ、第4部:大地をひらく、第5部:恵庭村誕生、第6部:戦後の暮らし)を見ながら、流域の歴史・文化を幅広く学ぶことができました。



写真-4 施設外観



写真-5 施設内見学状況

視察箇所(4) 長都大橋(3代目)

大学排水に向かう経路で、長都原野のビューポイントとして立ち寄りました。橋から長都原野を眺望しながら、河川事業の経緯や過去の苦労話等について、千歳川の河川事業に精通している瀬川委員に講話していただきました。



写真-6 長都大橋からの眺望



写真-7 長都大橋からの眺望

視察箇所(5) 大学排水、長都沼

長沼と千歳との境には、かつて長都沼や馬追沼といった広大な湿地があり、氾濫を繰り返していました。千歳川の治水とともに、排水路の掘削で湿地が乾燥して農地開発ができ、更に、軍事にも利用できる船の最短航路になるという理由で、戦時中、日本海(石狩)と太平洋(苫小牧)を結ぶ運河構想が提唱されました。学生義勇軍約270名が招集され、人力で、長都沼~千歳川間の約400mの掘削を成し遂げたことから、この水路は大学排水と呼ばれています。戦後、工事は北海道に引き継がれ、1,700mが掘削されて農業用排水路として今も利用されています。

なお、大学排水は幻の計画となった「千歳川放水路計画」の呑口に位置しています。本勉強会では、記念碑と大学排水を視察し、当時を振り返りました。



写真-8 記念碑



写真-9 大学排水

視察箇所(6) 舞鶴遊水地

長沼町の舞鶴遊水地は、千歳川遊水地群において最初に着手が始まった遊水地です。舞鶴遊水地は周囲 5.8km の堤防に囲われ、貯水容量 820 万 m^3 、平成 26 年度に越流堤や管理設備が完成し、平成 27 年度から供用が開始されています。



写真-10 舞鶴排水樋門

舞鶴遊水地は、周囲堤をぐるりと 1 周、越流部も含めて一般車両で通行することが可能となっています。本勉強会では、排水樋門や越流堤、遊水地内の植生の状況等、供用後の現状確認を行いました。



写真-11 越流堤

視察視察(7) 南 6 号排水機場

千歳川流域の長沼町は、北に夕張川、南に長都沼、東は千歳川の三方を河沼に囲まれた水郷で、昭和 30 年頃から開発が進み、千歳川の内水対策にポンプ排水の設置を求める地元要望が強まっていました。南 6 号排水機場は、昭和 40 年 9 月洪水の冠水被害を契機に、翌年の 10 月に完成しました。南 6 号排水機場の計画排水量は $26.0m^3/s$ (横軸斜流ポンプ、ポンプ径 $2,000mm \times 3$ 台、基準排水量 $8.67m^3/s$) となっています。本見学会では、千歳川河川事務所に許可をいただき、普段は入れない内部を見学させていただくことができ、貴重な体験をさせていただきました。



写真-12 南 6 号排水機場内部



写真-13 展望廊下からの360°眺望(南西方向)



写真-16 施設外観



写真-14 展望廊下からの360°眺望(北西方向)

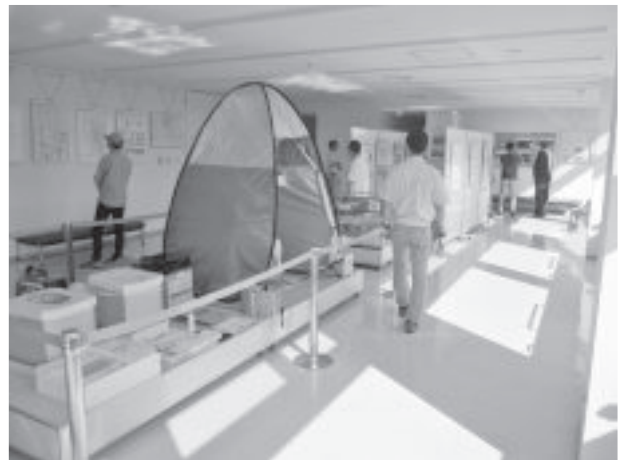


写真-17 視察状況



写真-15 展望廊下からの360°眺望(北東方向)

視察箇所(8) 北広島河川防災ステーション

北広島市防災センターは、災害が発生した際に災害対策及び水防、防災活動拠点として活用されます。

本勉強会では施設内を見学し、防災資機材やパネル等の展示状況を視察しました。

4. おわりに

水工部会では、今後もこのような勉強会の機会を継続的に設け、水防災はもちろんのこと、河川全般に関する知見を深め、部会メンバーで共有することで、技術研鑽の場としていきたいと考えております。

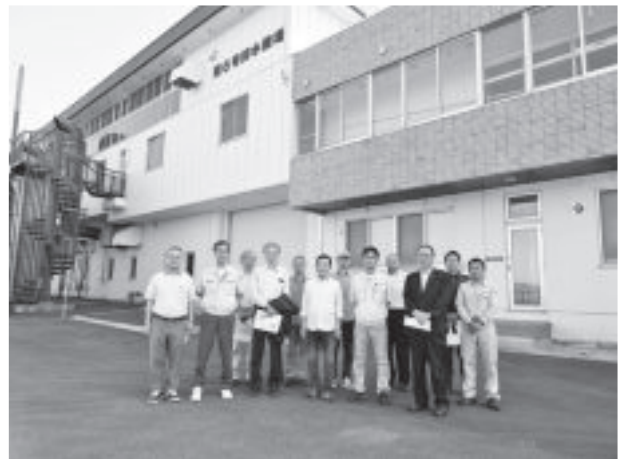


写真-18 集合写真